

ケアマネジャーのお仕事サポート

テーマ

「適切なケアマネジメント手法」を実践するために 疾患別ケアの構造の理解と疾患別ケア「脳血管疾患Ⅰ期」について

アセスメントから課題分析する課題分析標準項目(23項目)は、必須ですよね。

昨年3月号から、一部改正された課題分析標準項目(令和5年10月16日に通知された介護保険最新情報Vol.1178とVol.1179)と、適切なケアマネジメント手法「基本ケア項目」との関連を、一緒に考えてきました。改めて「ケアマネ通信」を遡って閲覧していただければと思います。

課題分析標準項目の課題分析(アセスメント)に関する項目は、**No.10から23**です。

今回は**適切なケアマネジメント手法「疾患別ケア:脳血管疾患Ⅰ期」**を、一緒に考えます。

**適切なケアマネジメント手法
基本ケア及び疾患別ケア**

株式会社日本総合研究所 令和7年度改訂版

**適切なケアマネジメント手法
疾患別ケア:脳血管疾患Ⅰ期**

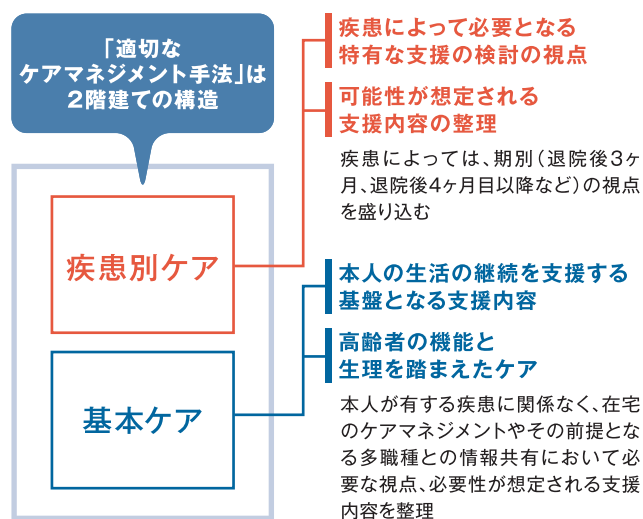
株式会社日本総合研究所 令和6年12月版

基本ケアと疾患別ケアの構造の理解

適切なケアマネジメント手法基本ケア及び疾患別ケア 令和7年度改訂版(令和8年3月31日)「**3.本手法の活用方法と留意点**」から下記の確認をお願いします。



本手法では、退院してから在宅での生活への移行が円滑に進み、かつそうした環境が大きく変わるタイミングに必要な可能性のあるケアが十分に検討されるよう、退院後生活が安定するまでの「Ⅰ期」と、その後生活の維持を目指す「Ⅱ期」に分けてとりまとめられています。この前段階として、入院中から在宅での生活へと移行するにあたり、医療、リハビリテーション、介護をはじめ、生活支援サービスや福祉サービスを含め、切れ目のないケアが包括的に提供されるような体制を整えることにより、できる限り早期に生活を安定させ、自らできることを増やすような取り組みへと進んでいくことが期待されます。こうした疾患では、時期によって本人の状況やその時に必要な支援内容、さらには医療との連携における留意点が大きく変わることから、タイミングを見計らった支援内容の見直しが求められます。



適切なケアマネジメント手法 疾患別ケア：脳血管疾患Ⅰ期

病状が安定し、
自宅での生活を送ることが
できるようにする時期を想定

- 時期はあくまで目安である。当人の状態に応じて前後する可能性がある。
- 前倒しの場合には、目標の再設定が必要で、後ろ倒しの場合には何故状態の改善が遅くなっているのかを確認する必要がある。
- モニタリングの時期は、本人の状態の変化をみて、柔軟に検討する必要がある。

手順を考える

1. 多職種で解決すべき課題の把握をするために課題分析標準項目23項目を基本情報調査・アセスメントする
2. ニーズのある項目を適切なケアマネジメント手法「基本ケア関連項目」で実態を把握、想定される支援内容を検討
3. ケアプラン原案作成
4. サービス担当者会議で調整
5. サービス提供
6. 効果評価
7. 再アセスメント

2.において脳血管疾患を発症して退院後3ヶ月病状が安定し、自宅での生活を送ることができるようにする時期であれば……

疾患別ケア：「脳血管疾患Ⅰ期」項目一覧22項目の右列に記載されている「相談すべき専門職」とともに各項目を掘り下げるために、各項目を確認していきましょう。

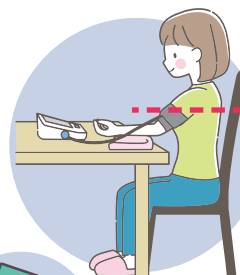
疾患別ケア：「脳血管疾患Ⅰ期」 想定される支援内容 **3.家庭(日常)血圧・脈拍等の把握ができる体制を整える**

疾患別ケア：「脳血管疾患Ⅰ期」項目一覧22項目すべて重要ですが、今回は想定される支援内容「3.家庭(日常)血圧・脈拍等の把握ができる体制を整える」について解説します。

家庭血圧の正しい測定 家庭で血圧を測る際は、毎日同じ条件で、正しい姿勢とタイミングで測定し、記録することが重要です。

測定の基本手順

- 1 測定タイミング……………●起床後1時間以内、トイレを済ませ、服薬・食事前に測定
●就寝前は入浴後1時間以上あけて測定することが推奨される
- 2 測定前の準備……………●測定前に1～2分安静に座り、深呼吸を数回行う
●排尿・排便を済ませ、リラックスした状態で測定する
- 3 姿勢とカフの装着……………●椅子に背もたれをつけて軽くもたれ、足は組まずに座る
●上腕や手首の測定部位が心臓の高さになるよう調整
●カフは腕にぴったり巻き、隙間ができないようにする
- 4 測定回数と記録……………●1回の測定ではなく、**各回2回測定して平均値を記録**
●朝2回・夜2回の計4回／日を1週間続けると正確な傾向が把握できる
●記録には手帳やスマートフォンアプリを活用し、体調や睡眠、食事などもメモすると医師が分析しやすい



カフの中心を
心臓の高さと
同じにする

上腕式血圧計(腕帯巻きつけタイプ)、
上腕式血圧計(全自動タイプ)、
手首式血圧計と
種類によって測定時の注意があります。



血圧の正しい測り方
健康・医療トピックス
オムロン ヘルスケア



現場を見ていて思うのですが正しい「家庭血圧の測定」ができていない現状があります。朝食後、服薬後、9時に測定しているなどこのような場合は、測定タイミング、測定前準備の状況をきちんと医師に伝えましょう。

(参考)
適切なケアマネジメント手法
基本ケア



執筆者

木村 隆次 きむらりゅうじ

薬剤師

介護支援専門員指導者一期生

一般社団法人 日本介護支援専門員協会名誉会長

医療・介護連携協働をライフワークに活動中。大学卒業後、製薬会社のMRとして勤務した後、青森市内で薬局を開局。薬剤師として居宅訪問をしていた際、福祉用具と住宅改修に興味をもち没頭。介護支援専門員指導者の一期生。2000年4月から13年間日本薬剤師会常務理事、2010年から2022年まで青森県薬剤師会会長を務めた。2005年11月から日本介護支援専門員協会会長(初代)として厚生労働大臣の諮問機関で介護報酬や介護保険制度を議論する分科会・部会の委員を歴任。現在は、日本介護支援専門員協会名誉会長として自立支援型ケアマネジメントの普及のため後進へ情報発信し育成に努めている。